

■■■■■ 情報通信フロンティアセミナー ■■■■■

衛星データのビジネス・減災活用と 準天頂衛星

参加費無料

- ・日時: 2018. 7. 27(金) 13:30~16:15
- ・会場: ウィンクあいち 11階 1103会議室
(名古屋市中村区名駅 4-4-38)
- ・定員: 80名程度

陸域観測技術衛星「だいち2号」による被災地の情報把握等、災害対応への取組が進められています。また、準天頂衛星システム「みちびき」が、4機体制で運用開始される予定であることから、高精度な位置把握が求められる車の自動運転、ドローン運用、農業支援等、無人化や省力化に繋がる次世代サービスの創出に大きな期待が寄せられています。



陸域観測技術衛星「だいち2号」



準天頂衛星システム「みちびき」

今回のセミナーでは、総務省の「4次元サイバーシティの活用に向けたタスクフォース」においてとりまとめられた最終報告書を含む我が国の宇宙通信政策の方向性について、事務局の担当者が講演するとともに、宇宙航空研究開発機構(JAXA)及び衛星測位利用推進センター(SPAC)から講師をお招きし、衛星通信のビジネス・減災への活用に向けた実証実験等の現状や、今後の動向を講演いただきます。

主催: 東海情報通信懇談会、総務省東海総合通信局

プログラム

- 13:00～ ● 受付開始
- 13:30～ 開会 主催者挨拶
- 13:40～ ● 講演1 衛星データで時をかける
～4次元サイバーシティの活用に向けたタスクフォースの検討結果と今後の展望～
講師 総務省 国際戦略局
宇宙通信政策課 衛星開発推進官 なかに じゅんじ 中谷 純之 氏
- 14:20～ (休憩)
- 14:30～ ● 講演2 「衛星を利用した防災への取組み」
講師 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)
第一宇宙技術部門 衛星利用運用センター特任担当役 かく かずや 加来 一哉 氏
- 15:10～ (休憩)
- 15:20～ ● 講演3 「準天頂衛星システム運用開始前夜
～利用実証の全容とそこから見えてくる活用シーン～」
講師 一般財団法人衛星測位利用推進センター(SPAC)
シニアアドバイザー まつおか しげる 松岡 繁 氏
- 16:05～ 東海情報通信懇談会の紹介等
- 16:15 ● 閉会

申込方法

7月20日(金)までに①お名前、②ご職業(企業、地方自治体等は団体名)、③電話番号を、電話、メール、又はFAX(様式適宜)にて、お知らせください。

※個人情報については、今回のセミナー参加に関する手続きのみに使用します。

【申込み・問合せ先】 東海総合通信局 企画調整課 電話:052-971-9182 FAX:052-971-9395
メール: joho3-tokai@soumu.go.jp

アクセス



ウインクあいち
11階1103会議室

- (JR・地下鉄・名鉄・近鉄)名古屋駅より
- ◎JR 名古屋駅桜通口から
ミッドランドスクエア方面 徒歩 5分
 - ◎ユニモール地下街 5番出口 徒歩 2分

本セミナーは、情報通信月間の一環として開催されるものです。